

VIO - 4K Ref. V701



ANALOG WAY®
Pioneer in Analog, Leader in Digital

高度な変換用途のための“オールインワン”多入出力ソリューション



様々な入力を受け、様々なかたちで出力

VIO 4K は高品質のオールインワンのビデオスケーラー、スキャンコンバーター、スイッチャー、コーダー/トランスコーダーであり、任意の入力信号フォーマットを4K 60 Hz 4:4:4 までの任意の出力フォーマットに変換でき、HDMI 2.0、DisplayPort 1.2、Dual-Link DVI、12G-SDI、Quad 3G-SDI、オプティカルを含む最新世代の接続能力、そしてもちろん従来のアナログビデオを備えています。VIO 4K はエンベッド/ディエンベッド済みの外部アナログ/デジタル音声信号も処理できます。

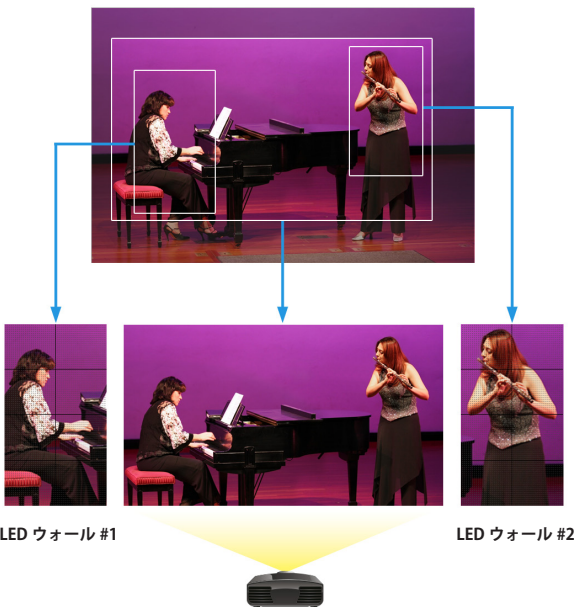
強固な信頼性を目指した設計

VIO 4K は、多様な映像変換ニーズに応えることができる頑丈なハードウェアプラットフォームとなるように設計されています。要求の厳しいライブイベント環境に生き残るべくロード向けの強化設計が行われた VIO 4K は最大限のアップタイムと少ないメンテナンスの確かな動作で、ユーザーを心配から解放します。ライブコンサートからスタジアム内の常設 LED ウォールまで、VIO 4K は多様なスケーリングと変換のニーズに応える理想的なソリューションです。

拡張可能でフューチャープルーフ

VIO 4K は別売入出力拡張インターフェイス用スロット 3 個を備え、最新世代の映像規格に対応します。音声/映像拡張モジュールの豊富なセットを利用できます。最も強力なモジュールは他に類のない優れた性能を提供し、4K 60 Hz 4:4:4 までのフォーマットをサポートしながら HDMI 2.0 または DP 1.2 をクワドリンク 3G-SDI または 12G-SDI のいずれかに変換できます（その逆も）。

例



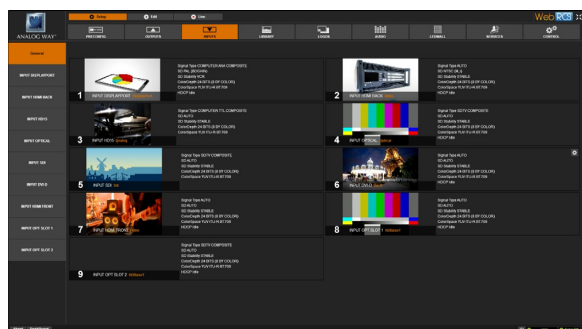
- ▶ 3 系統の独立した出力への同時ソース変換
- ▶ 各出力は同じソースの異なるセクションを拡大縮小可能

群を抜く性能のリアルタイム 10 ビット映像処理エンジン

VIO 4K 独自の高品質処理エンジンは、ライブイベントの多岐にわたるニーズに応じて、超低の 1 フレームレイテンシーを保ちつつ、ソースとスケーリングのレベルを問わず鮮明で自然な映像を確保します。

直感的なユーザーインターフェイス：Web RCS

Web RCS はユーザーフレンドリーなグラフィックインターフェイスを持ちます。接続したソースの動的なサムネイルがインターフェイス内で利用できるため、オペレーターはこの直感的なダッシュボードを使ってライブイベント中にディスプレイを調節・制御することができます。



VIO 4K の主な特長

- ▶ 多様な変換に使える“オールインワン”ソリューション
- ▶ ユーザーフレンドリーで直感的に使えるグラフィカルインターフェイス
- ▶ 映像/音声システムの拡張用にオプションカードを豊富に用意
- ▶ 高度な LED ウォール機能
- ▶ 超低レイテンシー 10 ビット 4:4:4 プロセッシング
- ▶ 独自の新型高品質スケーリングエンジン
- ▶ 映像入力に追従する柔軟な音声/ステレオ切替能力

4K60
4:4:4

HDMI
2.0

DP 1.2

12G-SDI

Quad-
Link
3G-SDI

Dante

主な特長

7系統の入力と1系統の出力

同じ選択ソースから最高9入力および拡大済み3出力まで拡張可能

システム拡張映像オプションカード用に2スロット

システム拡張音声オプションカード用に1スロット

最高の画質を生む高品質スケーリングエンジン

ソースはスクリーン上のどこにでも、またスクリーン外のどの方向でも最高100%まで配置可能

簡単な表示領域 (Area Of Interest) およびピクセルピッチ管理

ゲンロック+ループスルー: Tri-level Sync (HD) および Black Burst (SD)

ゲンロックのタイミングはどれも放送用 ITU/SMPTE 規格に準拠

出力の回転: 出力毎に90度, 180度, 270度

無制限のレイヤー寸法と拡大縮小

大型3.5"カラーTFT液晶ディスプレイ上でのソースのライブモニタリング

出力とスクリーンパターン: クロスハッチ, ムービング, スケーラブル, 出力ID, その他の動的パターン

新たな音声管理: 最高96kHzの8チャンネル (デジタル音声)

300msまでの音声遅延補正

迅速な交換が可能なDVI入出力ボード

4Kフレーム用メモリスぺース (スクリーンは2個まで直接アクセス可能)

USBホスト: マスストレージ

USBデバイスリンク

インポート/エクスポート機材のコンフィギュレーション

ビデオループスルーとしてDVI, HDMI, HD15の各出力端子が利用可能

7系統の入力

4K@30Hzまでの対応のDisplayPort

4K@30Hzまで対応のHDMI

6G-SDI + ループスルー (Level A & B 準拠)

ユニバーサルアナログ

2560x1600@60Hzまで対応のデュアルリンクDVI

ビデオオプティカルSFPモジュールケーシング

2K/1080pまでのHDMI (フロントパネル - Input #7)

ステレオ音声入力用3.5mmジャック (フロントパネル)

出力と端子

4K@30Hzまで対応のDisplayPort

4K@30Hzまで対応のHDMI

6G-SDI (Level A & B 準拠)

ユニバーサルアナログ

2560x1600@60Hzまで対応のデュアルリンクDVI

ビデオオプティカルSFPモジュールケーシング

ヘッドフォン用6.35mmステレオフォンジャック

ビデオループスルーとしてDVI, HDMI, HD15の各出力端子が利用可能

フレーム

最高50フレームのメモリー - リサイズ可能

Web RCS を介するダウンロード / アップロード

ライブ入出力からの取り込み

制御

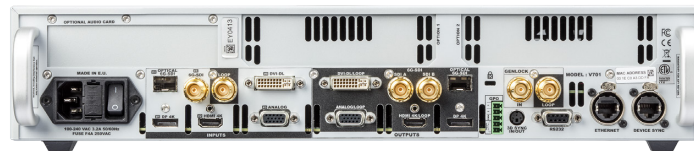
Web RCS: オンボードの直感的なウェブベースのユーザーインターフェイス

TCPプロトコルおよびAMX/Crestronドライバー

フォーマット変換用の汎用システム

- ▶ アップワードコンバージョン (スケーラー)
- ▶ ダウンワードコンバージョン (スキャンコンバーター)
- ▶ トランスコーダー
- ▶ コーダー
- ▶ アスペクトレシオ
- ▶ 多フォーマットのアナログゲンロック
- ▶ 動的テストパターン
- ▶ パン / ズーム機能
- ▶ フリーズフレーム
- ▶ アパーチャ補正
- ▶ 高度なLEDウィール機能
- ▶ フロントパネル上でのダイレクトな音声 / 映像モニタリング
- ▶ 出力の回転
- ▶ カスタムフォーマット
- ▶ EDID管理
- ▶ ゲンロック / フレームロック
- ▶ ガンマ補正 & 色温度設定

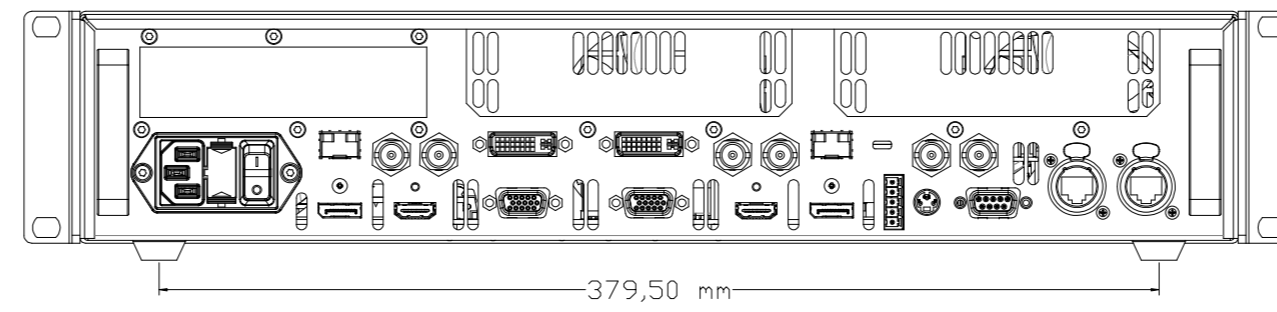
多様な変換にも対応するオールインワンの選択肢



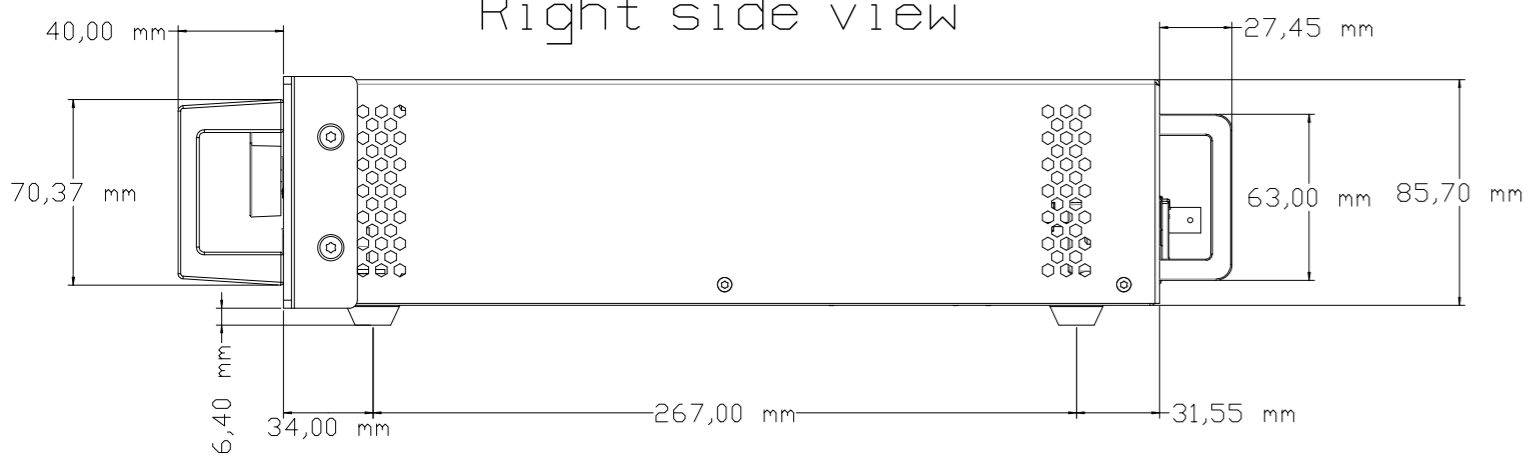
- ▶ Composite (PAL, NTSC)
- ▶ S-Video
- ▶ YUV (Y CB Cr)
- ▶ Computer (RGBHV, RGBS, RGsB)
- ▶ HD-YUV (HD-YCrCb)
- ▶ HD-RGB
- ▶ DVI
- ▶ DisplayPort
- ▶ HDMI
- ▶ HD/SD-SDI
- ▶ 3G-SDI
- ▶ 6G-SDI (Level A & B 準拠)
- ▶ 12G-SDI (拡張インターフェイス)
- ▶ デジタル音声: AES/EBU および i3d (拡張インターフェイス)
- ▶ 8チャンネル Dante 音声インターフェイス (拡張インターフェイス)
- ▶ アナログステレオ音声
- ▶ デジタル音声
- ▶ 1080P/1080i
- ▶ 720P
- ▶ 480P/480i
- ▶ 2K/1080p
- ▶ WUXGA (1920x1200@60Hz)
- ▶ WQXGA (2560x1600@60Hz)
- ▶ UHD (3840x2160@30Hz)
- ▶ 4K (4096x2160@30Hz)
- ▶ 4K@60P 4:4:4 までの超解像度 (拡張インターフェイス)

VIO 4K の入出力タイミングは SMPTE, VESA, HDMI, CEA による規格に完全に準拠します。

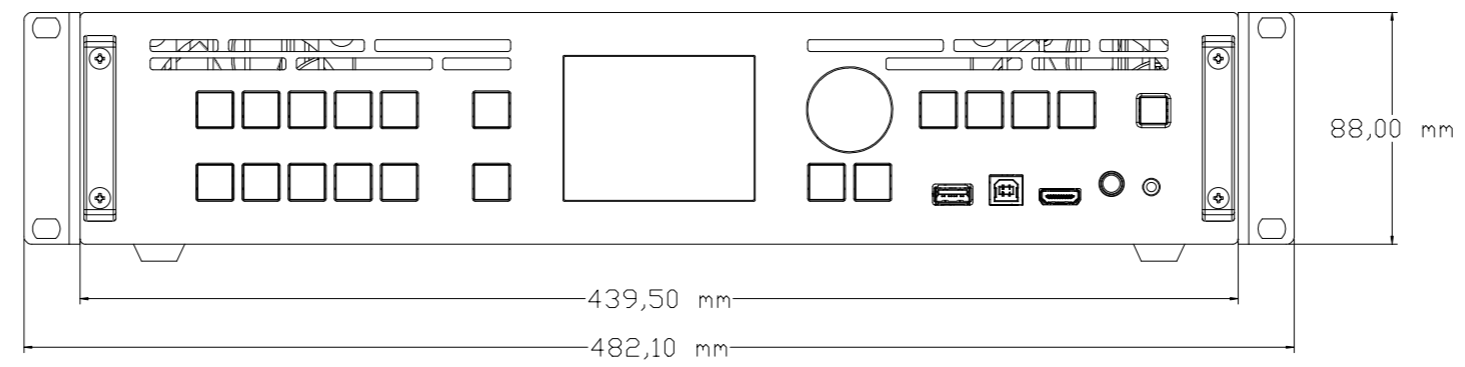
Rear side view



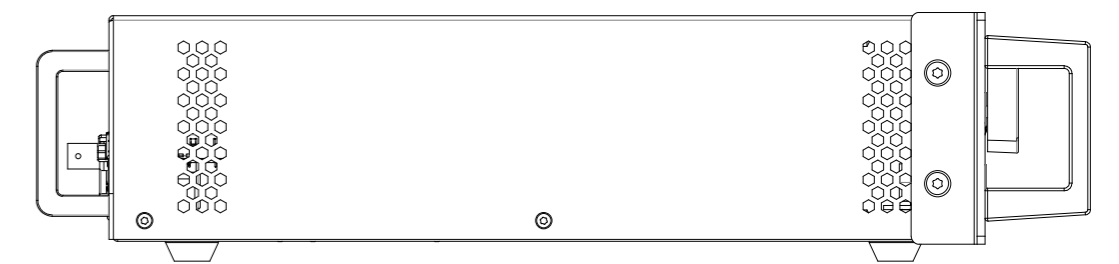
Right side view



Front side view



Left side view



Top side view

